

日本大学理工学部駿河台キャンパス新校舎愛称募集要項

日本大学理工学部創設100周年・
短期大学部（船橋校舎）創設70周年
記念事業推進委員会

来る2020年、創設100周年を迎える日本大学理工学部は、より一層の教育・研究環境の整備・充実を推進し、本年7月、駿河台キャンパスに地上18階地下3階の高層建築の新校舎が竣工いたします。

そこで、次の100年に向けた本学部の中核となる新校舎に相応しい愛称を募集することといたしました。

つきましては、本要項を御熟読の上、奮って御応募くださるようお願い申し上げます。

1 募集内容

- ① 日本大学理工学部駿河台キャンパス新校舎の愛称
- ② 上記愛称の読み方と説明

2 応募資格

日本大学理工学部、日本大学大学院理工学研究科（地理学専攻を除く）及び日本大学短期大学部（船橋校舎）の在学生、卒業生、保護者、教職員の個人資格とします。複数名又は団体等での応募はできません。

3 応募方法

日本大学理工学部公式ホームページ（URL：<https://www.cst.nihon-u.ac.jp>）上の「News Today」に掲載している「駿河台キャンパス新校舎愛称募集について」をクリックいただき、所定のフォームにて必要事項を入力の上で送信してください。

4 募集期間

平成30年3月16日（金）～4月30日（月）

5 選考方法

本学部の駿河台キャンパス新校舎愛称審査委員会において、厳正なる審査の上、採択者1名を選考します。

※審査員長 松井龍哉氏（フラワー・ロボティクス株式会社代表取締役、
本学芸術学部デザイン学科卒業）

6 採択者発表時期・方法

平成30年6月末頃、採択者に直接通知するほか、日本大学理工学部公式ホームページ上にて発表の予定です。

7 採択者表彰

採択者1名に感謝状及び記念品（賞金10万円）を贈呈します。

8 注意事項

- ① 新校舎の詳細は別紙「日本大学理工学部駿河台キャンパス新校舎について」を御参照ください。
- ② 愛称は国内外未発表かつ自作のもので第三者の著作権や商標権等の権利を侵害しないものに限ります。
- ③ 一度応募した愛称を修正（差替）及び取消をすることは認めませんので、応募する際は内容をよく御確認ください。（応募内容に不備がある場合は無効とします）。
- ④ 採択された愛称に係る著作権や使用权などすべての権利を、本学部に無償譲渡していただきます。
- ⑤ 本学部で愛称を決定する際、採択された愛称に修正を加える場合があります。
※ 採択された愛称のとおり新校舎の愛称が決定するとは限りません。
- ⑥ 応募者の個人情報、本愛称選定に関わる業務以外の目的では使用しません。
なお、本学部の個人情報についての取扱いは、以下のURLを御参照いただき、同意される方のみ応募ができます。
https://www.nihon-u.ac.jp/about_nu/effort/privacy/
- ⑦ 応募作品（愛称）は1人1点とします。1人で複数点の応募があった場合は、すべての応募作品を無効とします。
- ⑧ 愛称の使用期間は本学部の任意とします。

9 問い合わせ先

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14

日本大学理工学部 庶務課「新校舎愛称募集」係

電話 03-3259-0514 e-mail:ssyomu@adm.cst.nihon-u.ac.jp

以 上

日本大学理工学部駿河台キャンパス新校舎について

1 新校舎建設地である駿河台キャンパスのコンセプト

- ・社会に貢献できる学生を育成するため、学生への便宜を優先し、学生が生き生きと勉学に励み、大学内に居たくなるような、安全で、安心して学べる教育環境を備えたキャンパス
- ・教員・職員が熱意を持って、気持ちよく教育・研究・業務に携われるキャンパス
- ・駿河台は理工学部発祥の地であるから、要となるキャンパス
- ・昔から大学・学生が集うアカデミックな町である神田駿河台地域の特性を生かした、地域にも貢献できるキャンパス。地域のまちづくりにも寄与する、開かれたキャンパス
- ・医学部・歯学部との共生を考慮した日大駿河台地区としての意義を持ったキャンパス
- ・都心の特性を生かし、教育・研究面で世の中のリーディング・カレッジとなるキャンパス

2 新校舎の施設整備方針

① 創設100周年を迎える理工学部の“顔”として

来る2020年に創設100周年を迎える理工学部の記念事業に位置付け、本学部の今と未来を見据えたシンボリックな建築とします。学部での研究技術や学生のアクティビティを外部に発信する装置として、また、建物自体が教材となり得る建築を実現します。

② 都心のキャンパスとして

都心にあっても、潤いとゆとりある学習環境を実現します。教室及び研究エリアの各所に「学生スペース」「吹抜」「テラス」等、多様なスペースを計画します。また、外構計画は、周辺の緑（再開発地区や既存街路樹）とのネットワークを形成します。

③ 地域貢献の拠点として

地域のイベントや国際会議にも利用可能な大教室や、災害時における帰宅困難者を収容できる教室及び、防災備蓄倉庫等を設けることで、地域に開いた施設とします。

④ 環境にやさしい建物として

様々な先端技術を導入し、CO₂排出量を削減することで、地球にやさしい建物とするとともに、CASBEE（建築環境総合性能評価システム）Sランクを目指します。

⑤ 安全で安心な施設として

建物は免震構造を採用することにより、安全性を高めます。また、バリアフリー法の認定特定建築物とし、だれもが安心して利用できる施設とします。

3 新校舎建物概要

構造：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造（免震構造）

階数等：地上18階，地下3階，最高高さ：82.4m

建築面積：約1,400㎡，延床面積：約26,800㎡

4 新校舎各階用途

地下3階：駐車場・機械室

地下2階：実験室（土木工学科・建築学科・まちづくり工学科）

地下1階：実験室（建築学科・機械工学科）・管理室・倉庫等

1階：エントランスホール・大教室・カフェ・購買・保健室・学生相談室

2階：教室・講師室・パワーアップセンター

3～4階：教室

5階：教室・サーバー室・PC演習室

6階：一般教育・就職指導課・教室

7～9階：建築学科

10階：土木工学科

12階：一般教育・土木工学科

12階：まちづくり工学科

13階：まちづくり工学科・数学科

14階：数学科

15階：電気工学科

16階：機械工学科・電気工学科

17階：機械工学科

18階：建築学科・電気工学科・機械室

以上